

なのみ通信



東小田小学校 学校通信

平成29年10月2日

NO 14

文責 校長 宮崎春美

◇町PTA連合研修会

筑前町PTA連合会とは、筑前町内の6小中学校のPTAで組織する会で、会員の研修、PTA活動についての調査研究などを行っています。本年度は、本校が事務局で、本校PTA会長大川内愛美さんが、町PTA連合会の会長を務めてあります。その町PTA連合会が主催する研修会を、9月15日(金)、本校ランチルームで行いました。内容は、講師:林田スマさんによる講演会「ことばとこころ～親子コミュニケーションを考える～」でした。ご自身の子育ての経験、失敗談を例に挙げながらのお話で、あっという間の時間でした。また、さすがアナウンサー、素敵な声でした。

以下は参加された方の感想です。講演の内容を想像しながら読んで下さい。

○話の内容が、子どもと親の対話でありとても身近な話題だったので、自分の子育ての参考になりました。言葉は一言で幸せにもなるし、凶器にもなると改めて考えさせられました。

○子どもの目に親がどう映っているか、時間があるときにゆっくりと話してみたいと思いました。日々の報告を聞くだけが精一杯。時間をとって向き合わなければと思いました。

○「人は言葉を待っている」というフレーズが印象的でした。子どもが言われてうれしい言葉「よくがんばったね」「ありがとう」「良い子だね」。親が子への言葉かけを行うとき、子どもはきちんと聞いていて、ちゃんと受け止めようとしている・・・と話があり、たくさんほめようと思いました。夫婦共働きで毎日帰りが遅くなり、胸の中に罪悪感があったのですが、子育てのヒントをもらった気がします。明日から頑張れるような気がしました。

○「大人としてお手本になる生き方をしているか。」「子どもは、大人がしていることと言っていることが一致しているか、親の姿(言葉やしぐさ)をしっかり見ている。そして、これが子どもの価値観をつくる。」この言葉が心に残りました。

○お母さんの価値観だけでなく、いろんな距離感にいる大人の価値観に出会わせること、いろんな人の力を借りることというお話しに感銘を受けました。自分の子どもは自分が育てなければ・・・と思っていた私は、とても考えさせられました。明日から、もっと子どもと笑って、もっと寄り添って、ほめて育てていきたいと思いました。



◇なのみ見まもり隊結成に向けて

本校児童の安全を確保するため、本年度、見まもり隊の結成に向け学校運営協議会で協議を続けてきました。方向性が決まり、補助金を受けられることも決定しましたので、区長会の方に、見まもり隊結成の目的や見まもり方法等について説明し、各地区から5名程度(多い分は大歓迎)選出して頂くようお願いしました。区長様方から趣旨に賛同して頂き、現在各地区から続々と名簿が上がってきているところです。また、補助金を使って見まもり隊の帽子を発注しております。秋が深まる頃には、この帽子をかぶった地域の方々が、農作業をしながら、犬の散歩をしながら、なのみっ子の安全を見守って下さる予定です。子どもたちには、シングパフォーマンスの中で紹介する場を持ちたいと考えております。

